

第291号・2024年4月1日 (月)

発行・東北大学職員組合書記局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
内線 片平 (91) 5029

022-227-8888 (TEL) 022-227-0671 (FAX)

<https://tohokudai-kumiai.org/>

編集・コア編集委員会



(100億円)
潤沢な総長裁量経費から
パートにボーナスを!

女川原発の再稼働
を止めよう

働きやすい職場づくりのため、

私たちの身分を守るため、ぜひ組合へ

執行委員長 片山知史



今春に新しく東北大学の教職員として入職された皆さんに、心より歓迎のメッセージをお伝えいたします。

東北大学には教職員で作る職員組合があります。私たちの身分を守り、待遇を改善するために日々活動しています。では、なぜ私たちが組合を組織しているのでしょうか。

まず、私たちの働き方や待遇は、大学が一方的に決めるのではなく、教職員の意見を聞く必要があります。特に不利益な変更については、組合との協議を経なければなりません。組合は職場のルールを決め、職場を良くする重要な組織なのです。

一方、私たち労働者

は、雇われの身であり弱い立場です。そして理不尽なことがあっても、一人ではなかなか解決できません。皆さんご存知のように、東北大学では2018年春に非正規職員の大量雇止めが行われ、その後雇止めや解雇が続いています。賃金不払いやサービス残業も頻発しています。ぜひ皆さん、職場の仲間とスクラムを組んで、安心して楽しく働くことができる職場作りのために、そして私たちの待遇を良くするために一緒に取り組みましょう。

教職員共済

教職員のための制度です

総合共済・火災共済

年金共済・自動車共済等

5. 3憲法を活かす宮城県民集会

とき：5月3日 (金・祝) 13時～

ところ：仙台国際センター会議棟大ホール

記念講演

「新冷戦時代における日本の軍拡・基地の強化
—防衛型から攻撃型への変質—」

講師：斉藤光政氏 (防衛ジャーナリスト・東奥日報編集委員)

集まろう!つながろう!

2024第95回メーデー

とき：5月1日 (水) 10時～

ところ：勾当台公園 市民の広場

「働くものの団結で生活と権利を守り
平和と民主主義、中立の日本をめざそう」

団体交渉3/22

【できるの?】たった5分、白衣に着替えて病棟へ 【悲願】非正規職員へのボーナス支給へ第一歩

諸要求実現のため、3月22日に団体交渉を行いました。

一般的に組合との団体交渉には、組織の長が出席するのですが(東北大でも以前は学長が出席し対応していました)、今回も大野総長は出席せず、労務担当理事が対応しました。この状態は異常であり、次期総長は絶対そのようなことがないように申し入れました。

2023年12月から大学病院で実施されている、看護師の業務前5分、業務後5分の「みなし時間」について、着替え、移動および

び情報収集には到底足りず拡充を求めました。組合が従来から要求している非正規職員のボーナス支給について、前回まで当局は「非正規職員はその業務や勤務形態から、期末勤勉手当の対象外」とのゼ口回答でした。私たちは、「不安定雇用なのは、」

「不安定雇用なのは、」

2024年新春交流会

4年ぶりに飲食付きで開催

2024年1月19日、コロナウィルス感染を防ぐための規制も緩くなったこともあり、実に4年ぶりに飲食付きの新春交流会が開催されました。会場は、今



恒例 片山委員長のクイズ大会

に常態的業務を担っている非正規の方こそ支給が必要である」と主張してきました。今回は、支給を仮定した仕組みや方法を検討していることを明言しました。これは悲願のボーナス支給に向けた第一歩です。(片山知史執行委員長)



くつろぐことができた会場でした

までとは趣を変えてAIR棟5階交流スペース

スで行いました。参加者は31名。退職者の会や、この間たくさんお世話になった弁護士をはじめ、共闘を組んで

いる仲間の参加もあり、31名が参加しました。また、3名の国会議員からメッセージも寄せられました。料理は、病院支部の北村さんの協力により好評で、恒例の片山委員長のクイズでおおいに盛り上がりしました。



執行委員提供の豪華賞品

ここ数年、様々な理由から、このような集まりはネットワークの画面越しで行われることが多くなり、盛り上

宮城県労連第75回評議員会

2024年国民春闘方針決定

2024年2月10日、ショーケービルにおいて、第75回評議員会が開催されました。出席状況は14組織、22名、委任状1名といった内容ですべて定数を超えているため、無事、成立しました。

主な議案としては、2024年国民春闘方針(案)と一般会計報

告であり、何れについても賛成多数で議案が承認されました。また、各単産から現状などについて発言がありました。今回、東北大職組はAO入試の監督など動かさない予定が入ったために評議員を出席させることができませんでした。(千葉裕輝書記長)

全教2024春・新歓期宮城地区別単代表者会議(東北・九州高)

学長選考が異常な事態

2023年の人事院勧告後の各大学の状況を踏まえ、11月18日、今春の新歓活動・組織拡大を行うために、オンラインで単組代表者会議が開催されました。

中央執行委員から高等教育、労働条件についての報告があり、その後、個別テーマや各大学の状況について情報交換を行いました。

私からは、国際卓越研究大学、雇止め問題、医療職員着替え時間の現状を報告しました。

この時期に、学長選考が行われた大学も多かったようです。特に隣の宮城教育大学では、学長選考において、意向投票の結果が公表されないまま、学長選考・監察会議が候補者を選出したという事態が生じたようです。多

くの大学で意向投票の結果が学長選考・監察会議で覆されていますが、結果が公表されないというのは異例です。

新歓活動については、当局のオリエンテーション時に、いかに時間を得て説明させてもらうか、そしてその後ちゃんとフォローするかが重要であることが示されました。

私たちも、この春にはぜひとも新入組合員を迎え入れたいと思います。皆さんも周りの方々へのお声かけ、よろしくお願いいたします。

(片山知史執行委員長)



第33回宮城はたらく女性のつどい 身近なことからジェンダーを考えよう

2月10日にオンライン配信と併用で仙台市市民活動サポートセンターで「第33回宮城はたらく女性のつどい」が開催されました。

第一部は職場の交流ということで医療・教育・介護の各現場からの報告があり、東北大学からは現在も続いている雇止め問題について、実際に働いている

者の仕事への思いを伝えました。どの職場も人手不足に悩まされている現状と、また一方では仕事に対するやりがいについても生の声が聞けたのは良い機会でした。

メインである第二部は東北学院大学名誉教授の遠藤恵子氏による「身近なことからジェンダーを考えよう」というテーマで講演が始まりました。今回は①改めてジェンダーとは、②社会経済構造とジェンダー、③身近なジェンダー問題の現状、④ジェンダー問題解消に向けて、と4部構成でお話いただきました。



学びと理解を深められる貴重な講演でした

本来ならばこれらの内容で講義していただくには1時間という限られた時間ではとても短いという事でしたが、それでも参加者からは「先生のお話は興味深かった」「あらためてジェンダーは難しい問題であるが、一人一人が尊重される社会になつて欲しいと思った」「日本のジェンダーギャップ指数は156カ国中120位というところ、これは政府がどう考えているのだろう。順位を1つでも上げる取り組みとして、小さい子どもの頃から学校教育に取



参加者から次々と質問や感想が

り入れ、誰もがジェンダーに対しての理解と同じ行動ができるものとなつて欲しい」などの感想が寄せられました。

「このような学びの機会は、数回継続して授業のように行っていければ、もっと勉強してみたい」という提案もあり、非常に充実した時間を参加者同士で共有できた一日でした。

(執行委員 後藤 洋子さん)

第63回宮城県母親大会in大崎

11月17日(日)

記念講演：安田菜津紀さん

フォトジャーナリスト



Stop!女山原発再稼働

さようなら原発全国集会in宮城

雨の中1000人が参加



幅広い団体・個人が集いました

3月23日、勾当台公園市民広場で、女川原発再稼働に反対する集会が行われ、雨が降る中、全国から1000名が参加しました。

さようなら原発100万人アクションの呼びかけ人の鎌田慧さんは、「電力会社と政治家は、原発を動かすことで潤うが、事故が起きても将来世代に責任をもたない」と批判し、「絶対に平和な社会がくる、という信念をもって頑張りましょう」と述べました。

ALPS処理汚染水海洋放出禁止訴訟原告団共同代表は、「漁業者の漁業権を守るため、

また、漁業者の文書約束（関係者の同意なく海洋放出は行わない）を反故にさせないため、差止訴訟を起こしたが、国、東電は漁業者を不適格とし、『これを却下せよ』と主張した。許せない」と怒りを込めて話しました。

柏崎刈羽原発の現地からの参加者は、「能登半島地震で海岸が4メートルも隆起したが、原発の審査基準に地殻変動が含まれていない」

「初代規制委員長が『福島事故のとき、避難しなければ死者は少なかった』と講演。新潟でも大雪のときは避難するな、被ばくせよ」との方針に変更。酷い話した」と述べ、この2点を多くのの人に知らせたいと強調しました。

東海第二原発運転差止訴訟原告団共同代表は、「能登半島地震は、もう原発はやめよという自然からの警告だと思う」

「原発に對して、宮城県知事も東海村の村長も、他人事」「国民主権、地域主権、住民自治を守る、その闘いだ」と述べました。

なくそう原発・核燃、あおもりネットワーク共同代表は、「三方が海に囲まれた地で原発事故が起こった場合、避難できないということが明らかにになった。下北半島には三沢基地、牡鹿半島には松島基地もある。反原発、反核燃の運動は平和を守る運動であり、命と暮らしを守る運動だ」と話しました。

発言の最後は、環境破壊や人権侵害に対して抗議し、持続可能な社会をめざし活動しているFriday For Future Sendaiの若者です。「原発は気候変動にとって最も大きな脅威。私たちの声でエネルギーをどうするか、環境をどうするか、私

たちが住みたい未来はどういうものか、エネルギーの民主主義を取戻すために今ここから声をあげよう」という若者の力強い発言に、何度も「そうだ」という声がかかりました。

最後に、「28年もの長きにもわたる抵抗のすえ、原発誘致を阻止した石川県珠洲市の闘いに学び、日本のどこにも、世界のどこにも原発はいらないと声をあげ続ける」とのアピール案を採択しました。

集会終了後は「原発いらない」「事故があつても逃げられない」など声をあげ一番町通りを行進しました。

女性ネットみやぎ 2024企画
落合恵子さん講演会
 (さようなら原発1000万人アクション呼びかけ人)
とき: 4月21日(日) 14時~
ところ: 仙台弁護士会館4Fホール

(編 M)

術会議任命拒否問題、大規模大学への運営方針会議設置など軍事研究への懸念が強まっています。人間の命を救ってきた病院出身の総長には、大学が本来の任務を果たすことができるよう、リーダーシップを発揮してほしいものです。

(編 M)

日程

*落合恵子さん講演会

4月21日(日)

*第95回ミーデー

5月1日(水)

*5. 3憲法を活かす

宮城県民集会

5月3日(金・祝)

編集後記

新年度が始まりました。富永新総長のもとで大学も動き出します。

政府は裏金問題の真相を明らかにしないまま、平和憲法に反して次期戦闘機の第三国への輸出を可能とする閣議決定をしました。学